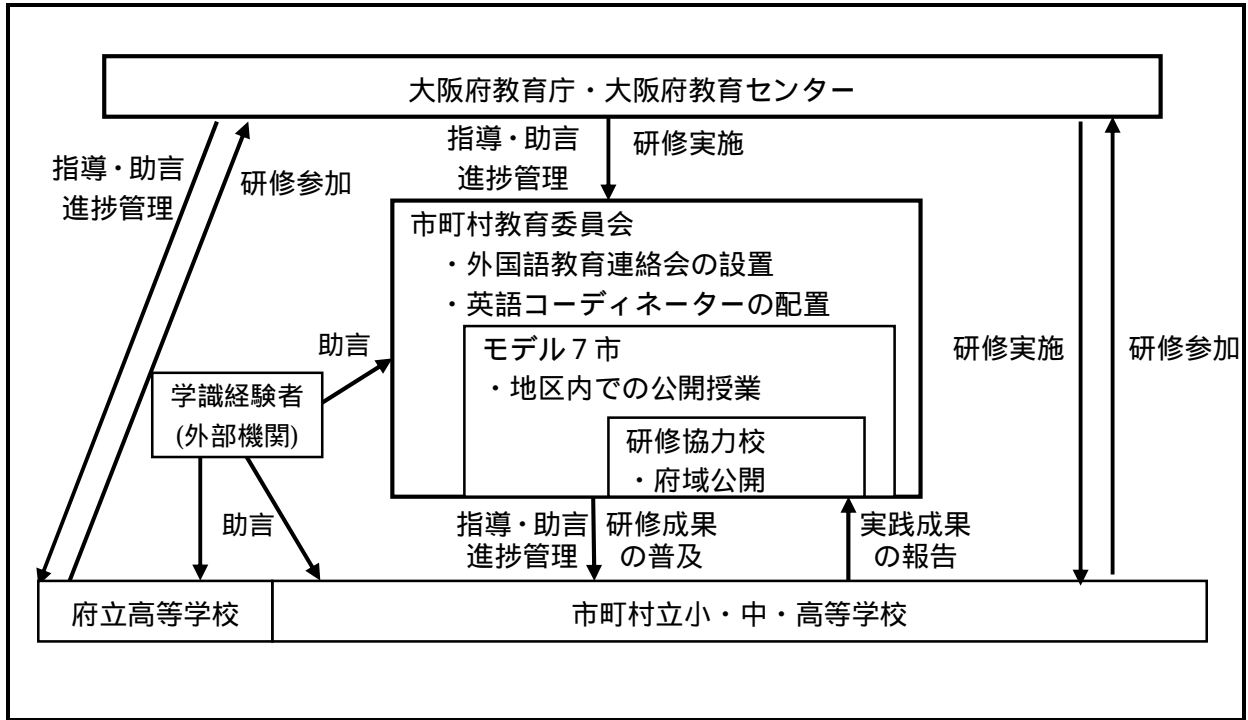


(様式 3 - 2)

大阪府英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

1. 大阪府の現状

求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	29.2%	28.8%	32.6%	50%
高等学校	60.7%	64.2%	64.4%	65%

求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合(中3、高3)

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	34.0%	39.5%	45.3%	50%
高等学校	35.0%	38.2%	41.4%	43%

「CAN - DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

- ・設定

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	81.8%	100%	100%	100%
高等学校	88.7%	100%	98.8%	100%

- ・公表

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	21.9%	72.7%	86.1%	100%
高等学校	22.2%	28.5%	97.1%	100%

- ・達成状況の把握

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	39.3%	78.9%	82.6%	100%
高等学校	35.8%	39.5%	97.1%	100%

授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	60.8%	77.2%	84.4%	100%
高等学校	35.3%	46.9%	44.8%	60%

「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト、ライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

・スピーキングテスト

		H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)	H30 (政令市除く)	H31 目標
中学校		8.7回	10.0回	10.4回	12回
高等学校	コミュニケーション英語	1.8回	1.8回	2.4回	2.5回
	コミュニケーション英語	0.8回	1.0回	1.4回	2回
	コミュニケーション英語	0.5回	0.3回	0.6回	2回
	英語表現	1.3回	1.5回	1.3回	2.5回
	英語表現	1.0回	1.2回	0.7回	2.1回

・ライティングテスト

		H28 (政令市含む)	H29 (政令市除く)	H30 (政令市除く)	H31 目標
中学校		8.1回	8.9回	10.4回	12回
高等学校	コミュニケーション英語	0.5回	0.5回	0.8回	2回
	コミュニケーション英語	0.3回	0.5回	0.5回	2回
	コミュニケーション英語	0.3回	0.2回	0.3回	2回
	英語表現	0.9回	1.1回	1.3回	2回
	英語表現	1.4回	1.8回	1.5回	2.1回

授業における、英語担当教員の英語使用状況

	H28(政令市含む)	H29(政令市除く)	H30(政令市除く)	H31 目標
中学校	47.2%	77.4%	95.4%	100%
高等学校	25.1%	31.2%	34.4%	37%

平成31年度の各項目の目標の達成に向け、以下のてだてを講ずる。

・目標達成までの具体的なてだて

- 1 中学校

大阪府教育庁（以下、教育庁という）と市町村教育委員会（以下、市町村教委という）が連携して研修体制を構築することにより、府内中学校の英語の授業を改善し、生徒の英語力を着実に向上させる。

教育庁と市町村教委の連携による取組み

- ・前項にある指標に基づき、市町村教委が目標を設定するとともに、目標を達成するための具体的な方策「英語教育改善計画」を作成する。教育庁は計画に基づき、市町村教委の進捗について確認・指導を行う。
- ・市町村教委は、府の研修受講者による普及研修を継続して実施し、所管の中学校教員の授業改善を進める。
 - 「英語コーディネーター」の活用
- ・学校数に応じ、各市町村1～2名の「英語コーディネーター」（以下、コーディネーターという）を置く。コーディネーターは、過年度の「中学校英語授業改善推進リーダー研修」受講者の中から選出する。
- ・コーディネーターは自身の授業を域内の英語担当教員に公開したり、域内の中学校を参観して授業者に助言したりするなどして、より言語活動の充実した授業を具現化させ、生徒の英語力向上に資する。
 - 「モデル市」の指定
- ・上記コーディネーターの取組みを支援するため、モデルとなる市（以下、モデル市という）を府内7地区に1市指定する。モデル市のコーディネーター在籍校をモデル校とし、モデル校に学識経験者を派遣する。モデル校のコーディネーターは学識経験者の助言を得ながら、自らの授業を公開したり、校内の他の教員の授業研究を支援したりするなど、組織的に授業改善を推

進する。モデル市の取組みは地区内に普及させる。

研修協力校の取組みの普及（研修協力校は、モデル校の中から指定。）

- ・モデル校の中から1校を研修協力校に指定する。研修協力校のコーディネーターは、英語教育フォーラムにおいて授業を公開し、成果を地区内だけでなく府内全体に発信する。

- 2 高等学校

「グローバル化」や「内なる国際化」が進む社会において、府立高校の生徒すべてが英語を話す（即興的に応答する）力を高めることで、4技能をバランスよく身に付け、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度が向上し、国内外において、異なる文化を持つ人たちとともによりよい社会を作る担い手となるよう、授業改善を図る。

➤ 教員の指導力向上

- ・校内の英語授業改善の中心的な役割を果たす教員を育成するため、平成31年度から3年間で全府立高校を対象として「英語教育推進中核教員研修」を実施する。
- ・「学び直しや学習意欲の向上に関する研修」や「高度な言語活動に関する研修」等、学校の状況等を踏まえ、教員が選択できる研修を実施する。

(3) 研修の体系と内容の具体

小・中・高を通じて

「英語教育推進の中心的存在となるリーダーを育成するための研修」

「リーダーによる研修内容の普及・伝達」

「課題に応じた研修の実施」

の3つの柱に沿って研修を行い、言語活動の充実に向けた授業改善を推進し、児童・生徒の英語力を向上させる。それぞれの校種における研修内容の具体は以下のとおり。

1. 小学校

小学校英語教育実践リーダー研修

目的 新学習指導要領において導入される小学校外国語教育の円滑な実施に資する研修を実施し、外国語指導に対する資質・能力の向上を図る。

対象 小学校教員 3年間で全小学校から1名は受講することとする。

内容 全5回

新教材「We Can!」「Let's Try!」の活用方法を中心とした指導方法の習得、演習
受講者は自身の勤務校及び市町村で研修内容を普及

2. 中学校

英語コーディネーター連絡会

目的 各市町村の課題に応じた英語教育推進の検証・改善

対象 各市町村のコーディネーター

内容 学識経験者による講義やコーディネーター間で取組みの交流を通して、スピーキング力を向上させる授業のあり方や、教材の開発、効果的な普及研修について研究・協議

大阪府英語教育フォーラム

目的 研修協力校での研究成果として、質の高い授業を府内全体で共有する。

対象 府域中学校英語科教員、希望する小学校教員、高等学校教員

内容 研修協力校のコーディネーターによる公開授業
学識経験者による公開授業への指導助言

「外国語（英語）」授業づくり研修

- 目的 4技能5領域を統合させ、総合的な英語力を育成するために必要な指導技術についての基礎を学び、外国語（英語）の授業づくりに係る指導力向上を図る。
- 対象 中学校、義務教育学校、府立支援学校中等部の英語担当教員
- 内容 バックワードデザインによる授業づくりから、指導と評価の一体化を図った授業の在り方を学ぶ。また、単元の指導計画案を作成し、マイクロティーチング等を体験することを通して、今後の授業の在り方について考える

3．市町村教育委員会

外国語教育連絡会

- 目的 市町村教委が主体となって、それぞれの地域の課題に応じて、英語教育を推進させる。
- 対象 各市町村の小・中学校の外国語（英語）教育担当教員
- 内容 「小学校英語教育実践リーダー研修」の内容や、過年度の教育庁実施「中学校英語授業改善推進リーダー研修」の内容等を、公開授業や、研究協議、講義など、形態を工夫しながら普及させる。
小・中学校それぞれの視点での取組みを交流・協議することで、小中一貫した外国語（英語）教育を充実させる。

4．高等学校

英語科教員研修

- 目的 全府立高等学校において英語教育の推進の中心的役割を果たす教員（中核教員）を育成する研修を行う。中核教員はファシリテーターとして校内の英語授業善の中心的な役割を果たすことで、各学校の英語科教員の指導力の向上を図るとともに、生徒の英語力の到達目標の設定や、教員の指導に関する意識の統一を図る。
- 対象 教育庁より指定された府立高等学校（岸和田市立の定時制の課程を含む）の校長・准校長から指名された者
- 内容 全9回＋各校における研究授業、研究協議の実施
- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1回 | 社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方（理論編） |
| 第2回 | 社会の状況を踏まえた、求められる授業の在り方（実践編） |
| 第3・4回 | 目標に応じた授業づくり（授業づくり） |
| 第5・6回 | 研究授業と研究協議の在り方（授業づくり） |
| 第7回 | 研究授業の見学 |
| 第8回 | 研究授業の検証 |
| 第9回 | 次年度の目標や授業の在り方 |

課題に応じた指導法に関する研修（Practical English Teaching Seminar）

- 目的 各学校の状況等を踏まえ、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」の5つの領域にわたる生徒の総合的なコミュニケーション能力を育成するための指導法について学ぶ。
- 対象 府立高等学校（岸和田市立の定時制の課程を含む）、府立支援学校（高等部）の英語担当教員
- 内容 全4回
- | | |
|-----|-------------------------|
| 第1回 | 発信する力を育成する指導 |
| 第2回 | 内容言語統合型学習（CLIL）を取り入れた指導 |
| 第3回 | 英語の「学び直し」を実現する指導 |
| 第4回 | ディベート活動を取り入れた指導 |

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	市町村外国語教育担当指導主事学習会（外国語（英語）科及び外国語活動における指導のポイントについて）	7地区それぞれに学識経験者を招聘 モデル7市での継続した授業 実践・普及 各市町村外国語教育担当者連絡会の開催
5月	市町村外国語教育担当指導主事連絡会（市町村英語教育改善計画の提出） 小学校英語教育実践リーダー研修 高等学校英語教育推進中核教員研修	
6月	中学校「外国語（英語）」授業づくり研修 高等学校英語教育推進中核教員研修	
7月	小学校英語教育実践リーダー研修 高等学校 Practical English Teaching Seminar 高等学校 Practical English Teaching Seminar 市町村外国語教育担当指導主事学習会（指導主事として学校支援をすることについて）	
8月	英語コーディネーター連絡会（スピーキングテストについて） 高等学校英語教育推進中核教員研修～ 市町村英語教育担当指導主事連絡会（全国学力学習状況調査結果共有・分析）	学識経験者
9月	英語コーディネーター連絡会（全国学力学習状況調査の結果を踏まえた授業づくりについて） 高等学校 Practical English Teaching Seminar 高等学校 Practical English Teaching Seminar 市町村外国語教育担当指導主事学習会（全国学力・学習状況調査を活用した授業改善の推進について）	学識経験者 7地区それぞれに学識経験者を招聘 モデル7市での継続した授業 実践・普及 各市町村外国語教育担当者連絡会の開催
10月	小学校英語教育実践リーダー研修 市町村外国語教育担当指導主事連絡会（各市町村の取組みの進捗確認・共有、府英語教育フォーラムに向けて） 市町村外国語教育担当指導主事学習会（指導主事として外国語（英語）の授業をどのように指導助言するのかについて）	学識経験者
11月	大阪府英語教育フォーラム（研修協力校公開授業及び指導助言） 高等学校英語教育推進中核教員研修	学識経験者
12月	英語コーディネーター連絡会 高等学校英語教育推進中核教員研修	学識経験者 7地区それぞれに学識経験者を招聘
1月		モデル7市での継続した授業 実践・普及 各市町村外国語教育担当者連絡会の開催
2月	小学校英語教育実践リーダー研修 高等学校英語教育推進中核教員研修	モデル7市での継続した授業 実践・普及 各市町村外国語教育担当者連絡会の開催

3月	小学校英語教育実践リーダー研修 市町村外国語教育担当指導主事連絡会（次年度に向けて）	
【その他の取組】 ・小学校英語専科教員を生かしたCAN - DOリスト研究		

